

令和6年度 学校評価アンケート【年度末】結果について(お知らせ)

板野中学校長 高畑 聖

1月下旬から2月上旬にかけて学校評価アンケートをご依頼いたしましたところ、ご協力いただき、誠にありがとうございました。生徒のみなさん、保護者のみなさまからいただきました声をしっかり受け止め、今後の「より良い学校づくり」に活かしてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、集計結果の詳細につきましては、本校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が80%を超えており、評価のよい項目	
◎保護者	
・ 子供は、楽しく学校生活を送っている。	83.3 %
・ 子供は、学校でいじめもなく、友だちと仲よくすごしている。	82.8 %
・ 子供は、場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	85.8 %
・ 子供は、遅刻をしないなど時間を守って生活している。	81.9 %
・ 子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	94.1 %
・ 保護者は子供の良いところを知っている。	98.0 %
・ 子供は、社会のルールを守る態度が育っている。	91.7 %
・ 子供は、自分を大切な存在であると思っている。	92.6 %
・ 子供は、事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	80.4 %
・ 学校は、美しく整えられている。	81.9 %
・ 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	80.4 %
・ 学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとし	83.8 %
・ 学校は、授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	90.7 %
・ 学校の便りから、学校の取り組みや生徒の活動の様子がよく伝わる。	87.7 %
・ 学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている。	91.7 %
◎生徒	
・ 学校での生活は楽しい。	82.1 %
・ 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。	86.8 %
・ 場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	88.3 %
・ 遅刻をしないなど時間を守って生活している。	83.3 %
・ 自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	91.1 %
・ 社会のルールを守って生活している。	89.5 %
・ 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	90.3 %
・ 時間いっぱい清掃に取り組んでいる。	82.5 %
・ いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。	85.2 %
・ 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	86.8 %
・ 学校からの便りを保護者にわたしている。	81.7 %
「よくあてはまる」「ややあてはまる」が60%に達しておらず、あまり評価のよくない項目	
◎保護者	
・ 子供は、家庭でも読書をしている。	26.0 %
・ 子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている。	54.9 %
・ 子供が、道徳でどんなことを学んでいるか知っている。	51.0 %
◎生徒	
・ 朝読書以外にも読書をしている。	33.5 %
・ 地域の行事に参加している。	28.8 %

※ うら面もあります。

評価の分析と今後の取り組みについて

☆生徒の調査について

生徒の回答結果では、設問項目1～5、15、21、23、25、26、30について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な意見は80%を超えており、概ね満足している状況です。しかし、昨年度80%以上であった項目から60%～70%に減少している項目が8つあり、30の項目の中で80%を超えているものは11項目にとどまりました。

「学校生活・生活指導」の中で、「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる」項目では、昨年度の86.7%に対し、今年度は77.8%に減少しています。無回答が17.1%ありましたが、全体として「あてはまる」と回答する生徒が80%以上になるよう、これまでの生徒との関わりを振り返り、より添った助言や指導に努めます。設問項目7「予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています」、8「提出物を忘れずに出している」の項目における肯定的な意見が昨年度より減少しています。各授業において授業規律を徹底できるようにするとともに、生徒がやる気になる「分かる授業」を実践できるよう、指導力の向上に努めます。「学力・学習指導」では、昨年度調査と比べて肯定的意見が減少傾向にあることから、主体的に学習に取り組む態度が向上するよう授業改善へ取り組んでいきます。また、個別指導が必要な生徒に対する丁寧な指導の在り方についても研修を積むなどして教職員間で共有するとともに、AI教材等を取り入れるなどの工夫をしながら個別最適な学びの実現を目指します。「道徳教育」については、昨年度より肯定的な意見がすべての項目で減少しています。とりわけ、16「自分が大切な存在であると思っている。」では、無回答が16.0%であるとはいえ、肯定的な意見が61.9%と低い値を示していることから、生徒のみなさんの自己肯定感や自尊感情が低下していると考えています。道徳の授業はもちろんのこと、日々の学校生活では教職員が道徳心を高める指導ができるように努力し、教職員自身が自らの指導を省察しながら、「生徒のみなさんが納得する指導」、「生徒のみなさんの心に響く指導」ができるように努力していきます。「安全教育・環境教育」については、校内の施設点検を充実させ、老朽化した施設の安全確保に努めていきます。「人権教育」では、設問項目24「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる」の肯定的な意見が昨年度の88.6%から78.6%に減少していることを真摯に受け止めます。トラブルを未然に防止するために、常日頃から生徒のみなさんとの対話を大切にするとともに、生徒のみなさんと保護者の方の意向を尊重しながら具体的な対応方法を示していきます。「学校行事」、「学校公開・情報公開・地域家庭連携」では、昨年度から大きな変化は見られませんが、28「地域の行事に参加している」の肯定的な意見が28.8%にどどまっていることから、学校行事を積極的に開放したり、地元で職場体験学習等の体験学習を実施したりするなどして、地域との結びつきが図れるよう、学校からの働きかけを充実させていきます。

☆保護者方々の調査について

保護者の学校評価アンケートの回答結果では、全31の設問項目のうち、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答が80%以上のものが15項目ありますが、昨年度より減少しています。

設問項目1～8の「学校生活・生活指導」については、昨年度と比較して大きな変化は見られませんが、「学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている」の項目が70.6%に減少していることをしっかりと受け止めます。この項目が年々減少傾向にあることから、生徒のみなさんへの関わりや指導が保護者の方には十分な理解をいただけていないと捉えています。学校生活で起きるトラブルや生徒のみなさんの悩みは、保護者の方と連携した対応で解決に向かうことが多いものです。今後は、三者面談等の限られた時間だけでなく、日頃から連携を密にした情報交換ができるように努めていきます。「学力・学習指導」(設問9～12)の中で、設問項目12「子供は、家庭でも読書をしている」の肯定的意見は26.0%と低い値を示しています。学校では、読書の機会が多くなる取組を行っていますが、読書習慣を定着させるために、生徒会から「読書の大切さ(おもしろさ)」が伝わるような働きかけをしていますので、ご家庭でも読書の時間を設けていただけると幸いです。道徳教育の中で、「子供は『とことん続ける目標』で自信につながってきている」の項目における肯定的な意見が昨年度の80.6%から72.1%に減少しています。学校内では、目標の達成状況を振り返る機会が生徒の将来につながるものとなるよう、「達成に至る過程が行動の習慣化につながり、自信が持てるようになる」ことを改めて伝えていきます。特別活動、総合的な学習の時間、部活動の設問にある「子供は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる」、「部活動は、時間を守り、活動ができています」の項目において、肯定的意見がそれぞれ低下しています。対策として、生徒の主体性を育てるため、「学校生活のルール」を生徒会が中心に改定したり、部活動では、「板野中学校部活動の在り方に関する方針」に則った活動が徹底できるよう、管理職から指導及び助言を行います。「安全教育・環境教育」(設問21～23)については、「学校の施設・設備は安全である」の項目における肯定的な回答が68.6%となり、昨年度より減少しています。安全な学校生活を送るために、教職員における定期的な校内の施設点検を実施するとともに、教育委員会とも連携しながら老朽化した施設の修繕を行うなどして、安全確保に努めていきます。「人権教育」(設問24、25)では、設問項目24「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる」の肯定的な意見が昨年度の82.8%から76.5%に減少していることや、「学校や先生は、いじめや差別のない学校づくりをしている」の肯定的な意見が昨年度の84.5%から78.9%に減少していることを真摯に受け止めます。生徒間におけるトラブルについては、生徒のみなさんや保護者の方の考えをよく聞き、指導の方針を分かりやすく伝える努力を惜しまないようにします。また、学校全体として対応できるよう、これまで以上に教職員間の連携を強化し、複数で問題の解決にあたるようにします。また、適切な指導が行われるよう定期的に研修を実施し、管理職からも指導や助言を行います。「学校公開、情報公開、地域家庭連携」の設問項目27「保護者は、学校の方針や教育活動のねらいを理解している」の肯定的な意見は、昨年度の81.0%から68.1%に減少しています。PTA活動や行事の機会、学年や学級からの通信等で方針やねらいを示すだけでなく、必要に応じて個別に説明するなど、保護者の方の立場に立った発信に努めます。また、来年度から導入予定の連絡システム「すぐーる」を活用した発信方法の工夫についても考えていきます。

今後も「子どもたちのより良い成長」を目指し、学校改善に取り組んでまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。